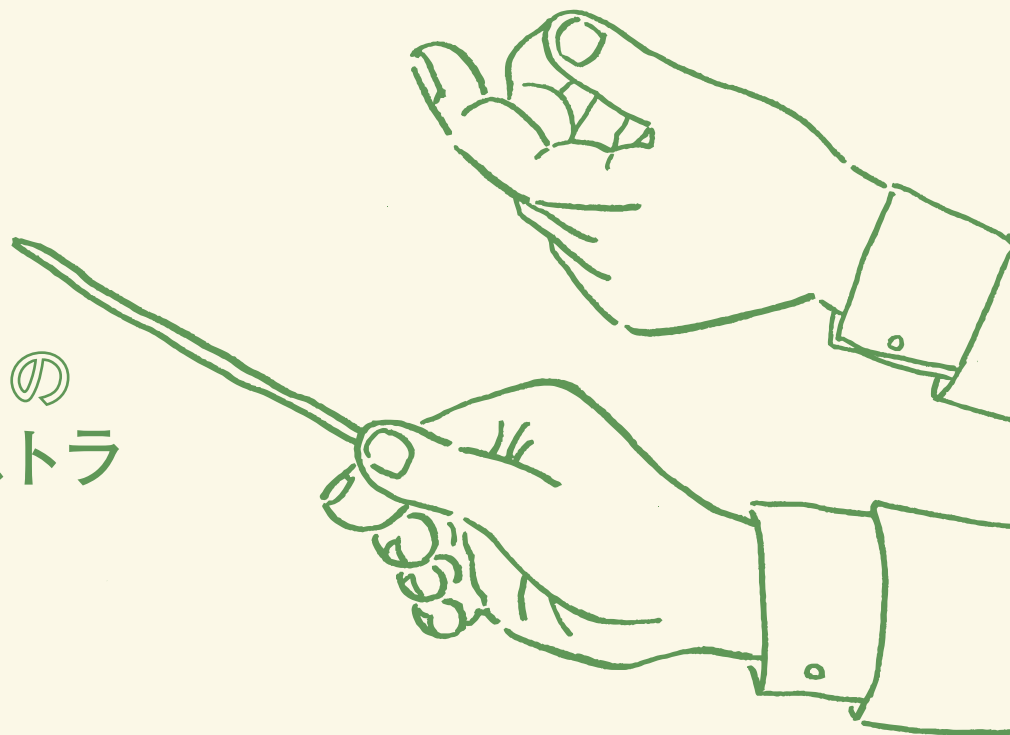


# 文化のチカラ

特集

## はじめてのオーケストラ



p1

特別対談

「オーケストラと生きる幸せ」

清水 颯輝 × 力武 由美子

p3

インタビュー

このまちのオーケストラ

p5

アンケート

わたしの愛するオーケストラ

I LOVE ORCHESTRA



まだまだあります、このまちならではのオーケストラに触れるきっかけ

☆

01

### アルカス“キラっ都”させぼファミリーコンサート

3歳から入場でき、親子で楽しめる1時間のコンサート。物語を聞きながらオーケストラを楽しめる「ピーターと狼」から、モーツァルトの「魔笛」まで、クラシック音楽の世界を存分に楽しめます。指揮は冒頭対談にご登場いただいた清水颯輝さんです。

前売券発売中

◎ 次回は

2017年12月23日(土・祝) 14:00~

アルカスSASEBO中ホールで開催!



☆

02

### 子どものための音楽鑑賞体験教室

市内の小学5年生全員を対象に、音楽の授業の一環として、アルカスSASEBOでプロのオーケストラの鑑賞体験を行う佐世保市の特色ある取組。来年は、10年目の節目を迎えます。



03

### アルカス SASEBO 音楽アウトリーチ事業「演奏家がやってくる!」

生の音楽に触れる機会の少ない子どもたちに、オーディションで選ばれ専門研修を受けた地元の演奏家がリクエストに応じ学校に赴き、少人数ならではの近い距離でのびのびと音楽を楽しんでもらう事業です。



04

### アルカスSASEBOオリジナル室内オーケストラ チェンバー・ソロイスツ・佐世保

日本を代表するヴァイオリニストの豊嶋泰嗣さんを音楽監督に迎えたアルカスSASEBOオリジナルの室内オーケストラ。国内外で活躍する一流奏者による佐世保でしか聴くことができないとても贅沢な演奏をお楽しみ頂けます。

◎ 次回は

2018年3月25日(日) 14:00~

アルカスSASEBO 中ホールで開催!



一般発売  
12/23~

リニューアルに伴い、イベントカレンダーは佐世保市ホームページもしくは facebookページ「文化のチカラ」をご覧ください。





を超える語り掛けてくる圧倒的な力がありますよね。それを、リーダーとして作り上げる指揮者というお仕事についてお聞かせください。  
清水 プライドと技術を持った個性の強い演奏家たちをまとめるのは大変ですよ。ただ、そんな苦勞もできあがった「音楽」が全部持って行っちゃうんです。これは僕らの感覚ですが、オーケストラで完璧に音が揃った時にだけ生まれる風景というものがあります。それは不思議に思われるかもしれませんが「静けさ」なんです。いかにものすごい

大音量で演奏していたとしても一人一人の音がピタッとあった瞬間その「静けさ」が生まれるんです。その瞬間のために頑張れる。  
力武 わかりません。私は、13歳ではじめて合奏を経験したんですが、指揮者がタクトを振るたびに目の前で音と音がきれいに重なり合って、ハーモニーが出来上がっていきいんです。指揮者って魔法使いなのかな? って思うくらい感動しましたね。そんな気持ちがある仕事にもつながっていると思います。ところでジュニアオーケの活動も6年目になりましたね。  
清水 下は小学4年生から高校生くらいまでいますが、一人一人が最高の状態でステージに立つてもらいたいという気持ちでやっています。初心者もいて、技術だつてバラバラ。でも不思議なことに、やりたいうイメージだけは、みんな共有しているんですね。そのイメージを頼りに素晴らしいところまで持っていく。最後の最後までぐんぐん伸びていく子どもたちに指揮者や指導者として伴走できるのは本当に

楽しい。本番直前までヒヤヒヤするんですけどね(笑)  
力武 ジュニアオーケは、楽器の貸し出しもして、初心者大歓迎です。清水さんには大変なご苦勞をおかけしますが(笑)。指導者としても、様々な地域に関わっておられますが、佐世保の特色を感じることがありますか?  
清水 初心者でも入団できる間口の広さは、やっぱり上手い人をオーディションで集める、というスタイルと比べて、地元の人が応援したくなるだろうし、オーケストラが地域のものになっていく上で重要なことだと思えます。僕がオーケストラを本格的に好きになったのは留學でヨーロッパに行つてからなんです。人々の暮らしや歴史とともに「自然」にオーケストラが存在する雰囲気新鮮で心地よかったです。街のつくり方ひとつとっても、音楽が聴ける教会や広場を中心に放射状に建物広がっていたりしますよね。  
力武 確かに、海外のコンサートでは客席の空気が日本とは違うように思います。日本の中でも都会

だと、評論家のように聴いているお客さんも多いような。  
清水 それは、演奏家としても感じます。佐世保では、お客さんと演奏家の距離が近くアットホームな空気が流れている、そういう意味ではヨーロッパに近いところがあるのかもしれません。  
力武 アルカスが出来て17年。毎年一流のオーケストラを鑑賞する機会もありますし、清水さんも所属するアルカスオリジナルの室内オーケストラ「チェンバー・ソロイスト」佐世保」も誕生しました。そんな取り組みがこの温かい雰囲気を作っていると考えるととてもうれしいです。最後に、今回「はじめのオーケストラ」というお題をもらっているのですが、清水さんはこれからオーケストラに触れてみようという人にどんな入口をおすすめされますか?  
清水 ジュニアオーケはもちろん、佐世保というまちで時間をかけて育まれて「生のオーケストラ」を一度体験してみたいかがでしょうか?…これ採用ですね(笑)

と生きる幸せ

力武 由美子 (りきたけ ゆみこ)

佐世保市生まれ。佐世保西高、日本大学芸術学部卒。1991年長崎オランダ村(現ハウステンボス)入社。退社後、2000年から英国留学。帰国後、佐世保商工会議所勤務を経て、2002年より(公財)佐世保地域文化事業財団事業部勤務。現在、事業部長。

聞き手

力武 由美子

対  
CROSS TALK  
談

話し手

清水 醒輝

清水 醒輝 (しみず だいき)

5歳よりヴァイオリンを始め、桐朋学園大学を首席で卒業後、ウィーンに留学。帰国後は、新日本フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターに就任。指揮者としても国内一流のオーケストラとの共演を行う。現在アルカスSASEBOジュニアオーケストラの指揮・指導者を務める。



ヴァイオリニストとしてキャリアをスタートさせ、現在は指揮者として、第一線で活躍されている清水醒輝さんと、アルカスで様々な事業を企画している力武由美子さん。ともにオーケストラに携わる仕事をされているお二人が、その魅力について存分に語ってくれました。



力武 清水さんが音楽をはじめたきっかけは?

清水 父親がクラシック好きで、知らない間にヴァイオリンを習っていました。気づけば、「巨人の星」みたいな厳しいレッスンを受けていて。そこからずっとヴァイオリン一筋。力武 厳しい指導を受けられたということですが、アルカスのジュニアオーケストラ(以下ジュニアオーケ)の指導を拝見していると真逆で、とても楽しそうな雰囲気ですよ。清水 反面教師みたいなものかな。ずっと個人レッスンで技術的なことを学んできたんで、厳しく突き詰める音楽を楽しむという感じじゃなくなるんですよ。僕は、

高校に入ってから初めて別の楽器と合わせてハーモニを作る楽しさを知ったんです。力武 厳しい練習や、努力の結果だけでなく、他の人と一緒に演奏することが楽しくて今の清水さんがあるということでしょうか。まさにオーケストラの魅力そのものですね。清水 はい。でも、ちょっと矛盾するようですが、突き詰めることで楽しくなることもあるんですよ。僕は、時代を超えて生き続けてきたクラシックの曲そのものが、やっぱりすごいと思うんです。楽譜に向き合うことは厳しいことに違いないんだけど、作曲家が生きた時代、代々演奏してきた演奏家がどんな解釈をしたかなど、知れば知るほどすごさがわかるし、僕自身、それを次に繋げなきゃって気持ちにさせられます。

力武 私は、いろんなジャンルの音楽を聴くのですが、オーケストラだからこそ生み出せる力というものも感じます。例えばベートーヴェンの「第九」のように、時代や国境を超えて愛され続ける名曲には言葉





Nami  
Fujisaki

### オーケストラのあるまち

音楽は人に生きる力を与えてくれる心のクスリで、オーケストラは、仕事場だけではない人の居場所となりうるもの。この西の果ての街に、子どもから大人までが参加できる環境があることは本当に素晴らしいことです。2つのオーケストラは、私にとってかけがえないホームグラウンド。アマチュアならではの情熱を持ち続け、プロフェッショナルとの交流で技術を深めることで、市民ひとりひとりに愛され、その誇りとなるような真の「市民楽団」を目指してほしい。私もそのお手伝いができる喜びです。

#### 藤崎 奈美 (ふじさき なみ)

佐世保市出身。ジュニアオーケストラの前身である児童管弦楽団の一期生。2003年から7年間、同楽団の指導に携わった後、ロシアで学び、欧州各地のオーケストラを指揮。今夏、市民管弦楽団演奏会で本格的な里帰り公演を果たした。

## SASEBO CITY ORCHESTRA

**子** どもが通っていた児童管弦楽団の練習の待ち時間に、公園で学生時代にやっていたトランペットを吹いていたらスカウトされました(笑)。吹奏楽の花形、トランペットは、オーケストラでは脇役のようなのですが、一人一人がソロで責任重大。やりがいを感じます。仕事の都合でいったん佐世保を離れたものの、「おかえり」と迎え入れてくれ、入団当時、舞台を走り回っていた子どもたちと、今一緒に合奏できるのが感慨深いです。



佐世保市民  
管弦楽団  
森下 繁樹さん

オーケストラ歴・20年  
パート・トランペット

Shigeki Morishita 64

**中** 学から吹奏楽で様々な楽器を演奏してきましたが、弦楽器とオーケストラは、4年前、東京から佐世保に越えてきてからはじめました。以前一緒に音楽をやっていた友人と、佐世保で再会し、市民管弦楽団に誘ってもらったのがきっかけです。人の温かさを感じる佐世保で、仲間と優しい音色のコントラバスを合わせるのが一番の楽しみです。



佐世保市民  
管弦楽団  
高砂 晶子さん

オーケストラ歴・4年  
パート・コントラバス

Akiko Takasuna 36

## ARKAS SASEBO JUNIOR ORCHESTRA

**ジ** ユニアオケが発足する時に、小5で入団しました。最初は、先輩たちがあまりにキラキラしていて近づけなかった私ですが、今は代表を務めています。たくさん楽器を使ってみることでひとつのものを作り上げるところがオーケストラの魅力。音楽を通して、団員みんなが仲良くなっていくことが楽しいし、やりがいを感じます。将来のことはわからないけれど、音楽やオーケストラは続けていきたいです。



アルカスSASEBO  
ジュニアオーケストラ  
山口 愛莉さん

オーケストラ歴・4年  
パート・ヴァイオリン

Airi Yamaguchi 16

**友** 達に誘われたのが入団のきっかけです。それまで楽器に触れたことはなかったけど、太い音でみんなを下から支えるコントラバスに惹かれました。オーケストラの魅力は大きさ。音はもちろん、演奏会には、年代を問わずたくさんの方が見に来てくれるし、大きな拍手をもらった時は本当にうれしい。できるなら音楽を仕事にしたい、いろんな場所で演奏してみたい、今そんな夢を持っています。



アルカスSASEBO  
ジュニアオーケストラ  
三枝 佳月さん

オーケストラ歴・1年  
パート・コントラバス

Kazuki Mieda 13



# このまちの オーケストラ

Mini interview

知っていますか？佐世保で活動する2つのオーケストラのこと。実はなかなか歴史もあるんですよ。メンバーに入団のきっかけやその魅力を聞いてみました。

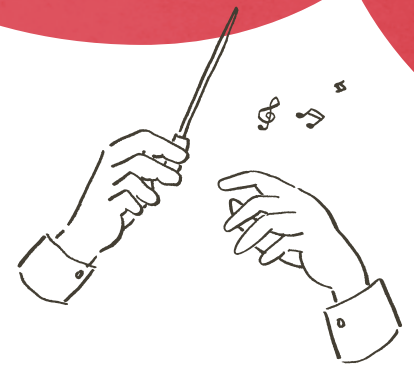
### 佐世保市民管弦楽団

1964年に発足した県下で最も長い歴史を誇る市民オーケストラ。団員数約50名。佐世保の音楽文化財ともいえる「西海讃歌」(初演:1969年)は、同楽団から團伊玖磨氏への依頼により作曲された。毎年、夏と冬の定期演奏会を中心に活動を行っている。

### アルカスSASEBO ジュニアオーケストラ

佐世保市児童管弦楽団(1988~2012年)を前身に、2012年結成。佐世保市近隣に住む小学4年生~高校生の約100名が在籍(初心者も歓迎)。県内外の演奏家による指導を含むアルカスでの練習のほか、毎年、合宿や春の定期演奏会を行っている。

# わたしの愛するオーケストラ



- Q1 お名前
- Q2 職業
- Q3 はじめての人にお勧めしたい大好きな一曲
- Q4 その曲の聴きどころ、選んだ理由

「とはいえ、やっぱりオーケストラは敷居の高か…」  
オーケストラファンからオススメの一曲を集めてみました。

そんな気持ちを隠せないあなたのために、  
もしかしたら一生モノの出会いになるかも、ですよ。



- 1 まお
- 2 中学生
- 3 ニュルンベルクのマイスタージンガー 第三幕への前奏曲
- 4 曲終盤のシンバルを是非聴いてほしいです。



- 1 ふじき
- 2 自営業
- 3 ストラヴィンスキー ペトルーシュカ
- 4 曲と物語がマッチした、バレエ音楽の代表格です。



- 1 ひろちゃん
- 2 合唱指揮者
- 3 ベートーヴェン交響曲第9番
- 4 有名な第4楽章に至る前の優しく柔らかな流れも聴いてみて!



- 1 チバ
- 2 小学生
- 3 おもちゃの交響曲
- 4 テンポがよくて楽しい気持ちになります。



- 1 ゆうすけ
- 2 技師
- 3 チャイコフスキー くるみ割り人形 第13曲 花のワルツ
- 4 素直で華やかな曲。耳にしたこともあるのでは?



- 1 ゆーこ
- 2 嘱託職員
- 3 天国と地獄
- 4 この曲を聴き、運動会を思い出しながらやる作業ははかどります。



- 1 ズックン
- 2 僧侶
- 3 ホルスト 惑星(組曲)木星
- 4 中間部の朗々と歌い上げるホルンの響き。心に響きます。



- 1 KIN
- 2 講師
- 3 ホルスト 惑星(組曲)火星
- 4 この曲のリズムを聴いてみて。スターウォーズのテーマ曲も影響を受けたとか!?



- 1 黄昏のチェリスト
- 2 公務員
- 3 R.シュトラウス ツァラトウストラはかく語りき
- 4 大迫力の冒頭からめくるめく音の万華鏡!



- 1 とんちゃん
- 2 会社員
- 3 チャイコフスキー イタリア奇想曲
- 4 明るく楽しい!この曲が好きで新婚旅行もイタリアでした。



- 1 KENZO
- 2 合唱連盟支部長
- 3 合唱と管弦楽に依る「西海讃歌」
- 4 合唱と管弦楽の壮大なフィナーレは、感動的です。



- 1 ダイジロウ
- 2 建設業
- 3 展覧会の絵
- 4 展覧会会場に足を踏み入れた時の高揚感を感じてほしいです。



- 1 みかほ
- 2 公務員
- 3 ドボルザーク 交響曲第9番 新世界より
- 4 2楽章はもちろん、迫力の4楽章が特におすすめです。



- 1 チャーキー
- 2 小学生
- 3 バイレーツ・オペ・カリビアン
- 4 映画でみんな聴いたことがあると思う、カッコイイ曲です。



- 1 ともみ
- 2 公務員
- 3 ガーシュウィン ラプソディ・イン・ブルー
- 4 メロディの展開とノリが軽快で、耳に馴染みやすいです。



- 1 MONE
- 2 無職
- 3 交響的物語 ピーターと狼
- 4 登場人物が楽器で表現されるなど楽しくオーケストラを学べます。



- 1 じっちゃん
- 2 教諭
- 3 ブラームス 第1番ハ短調
- 4 天に召されるような神々しさ。弦楽器の良さを感じられる曲です。



- 1 マダムのりこ
- 2 主婦
- 3 ブラームス 交響曲第1番
- 4 第1楽章は、色んな楽器の掛け合い、掛け合わせが楽しめます。



- 1 カワムラ
- 2 財団職員
- 3 マーラー 交響曲第2番
- 4 「生きるために死ぬ」と歌うラストの合唱は圧巻です。



- 1 かえで
- 2 小学生
- 3 チャイコフスキー 白鳥の湖
- 4 オーケストラならではの迫力がすごいです。



- 1 SHO
- 2 教諭
- 3 チャイコフスキー 交響曲5番
- 4 オーケストラに必要な全ての要素がこの一曲に凝縮されていると思います。



- 1 あきら
- 2 自営業
- 3 メリー・ウィドウ・セレクション
- 4 全編アップテンポな曲の中、主人公の切ない心情を歌うクライマックスが響きます。



- 1 ひーちゃんママ
- 2 会社員
- 3 グリーク「ペールギュント」組曲
- 4 沖縄にいた頃、学校で流れていた曲。沖縄の朝の風景が目に見えます。

WE ♥ ORCHESTRA

## わたしの愛するオーケストラ